

近畿「ディスカバー農山漁村の宝」(第4回)選定地区及び選定者

| 団体部門 | | | |
|------|-------|---------------|---|
| No. | 所在市町村 | 地区名 | 取組の概要 |
| 1 | 東近江市 | 百済寺樽プロジェクト |  <p>百済寺樽お披露目会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室町時代からの名刹「百済寺」で製造されていた銘酒「百済寺樽」を、地域資源として復活。 ・地域を巻き込んだ取組とするため、発足当初から連携団体の増加を目指す。 ・関係人口を増加させるために、年間を通じた体験プログラムを企画し開催。 |
| 2 | 和東町 | お茶の通販・京都おぶぶ茶苑 |  <p>国際インターンシップ制度の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回茶畑直送の茶葉が届く「茶畑オーナー制度」を実施。 ・茶産地を日本茶文化の体験観光地とするため、茶畑のツーリズム化を企画。また、海外に日本茶の魅力を伝えるため、現地で日本茶普及活動を実施。 ・日本茶の輸出に取り組み、世界116カ国へ茶葉を直送可能な体制の確立。 |
| 3 | 堺市 | 大阪府立農芸高等学校 |  <p>小学校の酪農体験受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府内で唯一酪農を学べる農業高校で、府内唯一の酪農教育ファーム認証牧場。 ・近隣小中学校を対象に、酪農体験や出張食育授業を実施し、酪農の理解向上を推進。 ・消費者の地域酪農への理解向上と牛乳・乳製品の消費拡大を目的に、セミナーやマルシェ等のイベントへ参加。 |
| 4 | 丹波市 | 株式会社ゆめの樹野上野 |  <p>丹波の特産品を活用したゆめの樹食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本一の丹波栗産地の復活」に取り組み、毎年「丹波栗まつり」を開催し都市部の消費者との交流を推進。 ・総務省の交付金を活用し地域の活動拠点「ゆめの樹館」を整備し、丹波栗を活かした食事の提供や特産品の販売を実施。 ・丹波市内の小中学校や保護者会と連携し、丹波食育講座を実施。 |
| 5 | 葛城市 | 葛城山麓地域協議会 |  <p>7つの集落をめぐる葛城山麓ウォーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を発信するために、山麓の7つの集落を巡る「葛城山麓ウォーク」を地域住民、学生や障がい者施設等と連携して開催。 ・獣害の少ない作物の栽培実験や地域の特産品となる農産物の栽培を推進。 ・農産物加工品の商品化やそば打ち体験等のプログラムの開発。 |
| 6 | 田辺市 | 株式会社日向屋 |  <p>ジビエ施設の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手農家で捕獲チームを結成し、ワナ等の免許を取得。また、ジビエ加工施設「ひなたの杜」を誘致し、地域の鳥獣被害が減少。 ・鳥獣の捕獲から解体、食すまでを体験できるグリーンツーリズムを実施。 ・地域の保育園や障がい者支援施設と連携し、耕作放棄地を活用した農産物の生産・販売活動を実施。 |
| 7 | みなべ町 | 梅遊びグループ |  <p>農家案内による梅畑歩きを楽しむ観光客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありのままの梅生産現場を案内する「梅畑歩き」を実施し、四季をとおした梅の魅力をPR。 ・「奥みなべ梅林」期間中、予約制で里の女性達の手作りによる農家ランチ「奥みなべ梅御膳」を来訪者に提供。 ・グループが集まり、巻き寿司やうめ餅といった商品を開発し6次産業化を実践。 |
| 個人部門 | | | |
| 8 | 東近江市 | 前川 真司 |  <p>東近江市の花 紫草</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万葉集にも登場する絶滅危惧種「紫草(ムラサキ)」の保全活動を行っていた農業高校に教師として赴任、その後退職し、地域おこし協力隊として就任。東近江ムラサキ紫縁(支援)プロジェクトを開始し、その中心として活躍。 ・紫草の根「紫根(しこん)」を加工して、6次産業化商品を開発。地域に雇用を生み出す地域活性化事業を展開。 |